

わ

発行責任者
特定非営利活動法人
相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
(通称：NPO法人れんきょう)

会長 鈴木秀美
相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)

TEL & FAX 042-755-5282 (直通)

題字「わ」 相模原市長 本村賢太郎

さーくる 障害理解

検索

《NPO法人れんきょう第9回定期総会開催報告》

令和5年度定期総会は6月25日(日)にあじさい会館6階展示室で開催されました。来賓として本村市長代理の健康福祉局長 若林和彦様、市議会議長 古内明様、社会福祉協議会会長 笹野章央様、社会福祉事業団常務理事 鈴木泰明様、自治会連合会会長 竹田幹夫様、民生委員・児童委員協議会会長 大貫君夫様、相模原ボランティア協会会長 加藤修様にご臨席いただき、祝辞を頂戴しました。



総会は、代議員53名中、出席18名、委任状21名があり過半数の参加を得て成立しました。

総会の進行役として、司会はやまびこ会の松原さん、議長はやまびこ会の野口さん、書記は事務局の座間さんに務めていただきました。

議案は令和4年度事業報告、令和4年度収支決算報告ならびに監査報告、新理事就任案、令和5年度事業計画案、令和5年度収支予算案で、それぞれ担当役員から説明がありました。各議案とも代議員の賛成多数をもって可決されました。

令和4年度の事業では、今まで中止していた事業も開催され始めました。今年度は新型コロナウイルスの感染も落ち着いて来たこと、感染法上の扱いも緩和されたために、従来のように対面しての事業が復活します。実施された場合は、会員の皆様の参加を期待します。また、本年度は「れんきょう」創立35周年にあたります。大きな記念事業は実施しませんが、広報紙「わ」10月号を拡大版で発行する予定です。

《2023 年度交流大会開催報告》

ボウリング大会は、れんきょうと相模原ボランティア協会が共催で、従来、新春ボウリング大会として、2月に開催していたボウリング大会を、開催時期について種々検討の結果、6月が都合が良いと判断して6月17日（土）に開催しました、名称は時期的、「新春」ではないことから、新たに検討して、障がい者同士の或いは障がい者と健常者が交流を深める場となって欲しいとの願望から「交流」を冠したものとしました。

当日は、天候に恵まれ、大会開催日和でした、55人の選手（障がい者）に付き添い人、ボランティア、開催事務局スタッフ等27名を加えた80名以上の参加者で、たいへん盛会裡に開催出来ました。

当日は、相模原パークレーンズのご厚意により、無償で3階の18レーン全て貸し切りで利用させていただき、大会の一体感の盛り上がりにも効果がありました。

また、大会として表彰対象は最初の1ゲームですが、時間的余裕があり、2ゲーム、3ゲームを投球出来る人がおり、ボウリングを存分に楽しんでいただきました。加えて交流という所期の目的が十分に達成できました。



《「さーくる」 アクセス状況報告》

	R5 年					
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
訪問回数 (回)	1708	1809	1826	1791	1859	2113
訪問人数 (人)	1461	1513	1590	1541	1618	1799
見られたコンテンツ (件)	3544	4034	3741	3536	3189	3984
初めて訪問する人の率 (%)	82	79.7	82.8	81.7	83.3	80.9

コロナウイルス感染症が5類になって以来、いろいろなイベントが復活して、今まで「さーくる」を見ていてくれた方が戻って来てくれた感じがします。

これからも新しい情報を掲載していきたいと思えます。

さーくる 障害理解

検索

《「車いすと杖の会」に名称を変えました。》

車いすと杖の会事務局 町田 紘 一

昭和 48 年、初代会長故松根一郎氏と車いす生活者 10 名程の仲間で相模原市身体障がい者連合会（相身連）に入り行動開始。当初相身連の肢体部のなかでの活動でした。

権利を主張する前に、障がい者としてではなく、一人の人間として社会の中で生きている意味をよく考え、「自活して税金を払うような人になろう」の精神で、昭和 54 年 4 月 50 名ほどの車いすを使用する会員で「相模原市車いす友の会」（当事者の会）が肢体部から独立し発足しました。

会からの要望で実現した「リフト付き送迎あじさい号」の誕生で、自宅から外出できなかつた車いす障がい者がドアツウドアで外出が出来るようになり、公園散策やバーベキューなど、多くの仲間と触れ合うことが出来、悩み事の相談、生きることの喜び、外出の楽しさを味わうことが出来るようになりました。

昭和 56 年国際障害者年にあじさい会館とけやき会館ができ、手芸、カラオケ、手話などの勉強会、車いすバスケ、卓球などで沢山の仲間づくりが出来、障がい者の作品展に参加、みんなのトイレや歩道と車道の段差解消など多くの問題を提起、小中学校での福祉講話や体験談、駅構内のバリアフリー化の話し合い、桜まつりの福祉ブースで模擬店参加、など市民との交流の場作りもしてきました。

平成 20 年相身連から独立。福祉制度の急激な変化や、制度上の制約、会員の高齢化もあり、会員も減少。平成 25 年から市の補助金を断り、会員の会費と寄付金だけで会を運営。代表が会員になっている「障がい者とダンスを楽しむ会」の協力もあり、懇親会、バーベキュー、福祉バスの旅などの活動を続けています。

障がい手帳を持っている車いす利用者は福祉政度のなかで障がい者施設の利用を含め、生活面も守られ、以前のような不自由さがなく、社会改革の意欲も少なくなり、今まで言えなかつた悩み事もホームヘルパーやケアマネージャーに言えるようになり、あじさい号がなくなつたいま、会への積極的な参加も難しくなっている。

高齢化社会の中で、歩行に不安のある人で、病院や買い物がやっという人が目立つようになつてきました。車いすの世話にはなりたくないという人も多く、その結果、外出が出来なくなり、孤独になり、生きる喜びがなくなってくる。

車いすで移動する人も、杖や歩行補助装置で移動する人も同じ移動困難者であり、福祉バスの旅や懇親会などの行事への参加で生きる喜びを味わってもらえたらと思い、車いすに拘ることなく、歩行に不安のある人にも参加してもらえるように名前を車いすと杖の会に変更しました。

参加ご希望の方、悩みごとの相談などお気軽にお電話ください。

会長；高本涼（電話 042-753-9804） 相談員；町田克子（電話 042-745-6206）

《ほかほかふれあいフェスタ 2023 の開催案内》

ここ3年間、ほかほかふれあいフェスタは新型コロナウイルス感染防止のため、関係者、支援者の方々に臨席いただく式典を取りやめたり、参加人数を制限する等の感染防止対策を取って実施してきました。

しかし、今年度は、新型コロナウイルスの感染状況に好転が見られるため、式典を含めての開催となります。また今回は、健康フェスタ、パラスポーツ体験会との共同開催となりますので多くの方々に多角的にお楽しみいただけるものと期待しています。

また、従来ウェルネス相模原前の広場で実施していた楽器演奏・歌唱、車いすダンス、よさこいソーラン、ヒップホップダンス等のパフォーマンスは全てあじさい会館ホールで実施されることとなりました。

ウェルネス相模原広場では、焼きそば、ポップコーン、野菜、パン、手工芸品等の販売やバザーの出店が予定されています。

れんきょうは広場のテントに加盟団体のパネルを展示して、加盟団体の活動内容を参加者の方々にアピールします。開催日程は10月21日(土)10時開始の見込みです。

また、障害者週間キャンペーンは従来どおり小田急線相模大野駅北口のサンデッキで11月25日(土)12時から開催の予定で、福祉関係の資料を通行人の皆様に配布する啓発活動を実施します。そして通行の方々の目を楽しませる楽器演奏・歌唱、車いすダンス、よさこいソーラン、ヒップホップダンス等のパフォーマンスを披露いただく予定です。

《NPO 法人れんきょう新理事の紹介》

今度からNPO 法人れんきょうの理事になりました五十嵐吉郎です。

私は、相模原市精神障がい者仲間の会（あしたば会）に所属している当事者会で副会長をやらせて頂いています。

精神障害は色々ありますが、社会に出て職場でのコミュニケーションを苦手とする人が多々あります。

また、過去のトラウマ重病になる方も多い病気です。そのような会員の声を取り上げて、れんきょうの皆さんと相模原市をより良い街づくりを目指したい思います。

どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。

《第27回 NHK ハート展見学記》

東京渋谷のNHK プラスクロス SHIBUYA で令和5年6月19日～7月23日まで開催され、全国から3,009編の応募作品から50編の入選作品が展示されておりました。作品は9歳の内部障害の方の「立ねぶた」から75歳の聴覚障害の方の作品「寿命」が展示されておりました。どの作品も素晴らしい作品で、中には読んでいて思わず感動して涙の出るものもありました。

相模原失語症友の会 古山 高

《車いすと杖の会 令和5年度 伊豆一周まつぎき荘福祉バスの旅》

車いすと杖の会事務局 町田 紘一

1 日目;光ヶ丘⇒市民会館前⇒平塚 SA⇒伊東マリンタウン⇒河津町わさび丸山園⇒まつぎき荘 (泊)

2 日目;まつぎき荘⇒伊豆市道の駅「月ヶ瀬」⇒沼津魚市場⇒中井 PA⇒市民会館前⇒光が丘 (解散)



会員と付添、協力団体のメンバーで6月4、5日に伊豆一周の旅に出かけました。当日は予報が外れ、前日までの雨で木々もきれいに洗われとても気持ちの良い旅行の日になりました。昨年は8月28日29日茨城県の旅でした。今まで利用したホテルはバリアフリーのシステムが一律で使いやすい“かんぼの宿”でした。かんぼの宿が民間に移譲され、バリアフリーの部屋も高額な浴槽付き部屋に改装、リフト付き家族風呂も高額な別料金(以前は手帳を持っている障がい者は1時間無料:大浴槽に入れないので当然と考えていました)になり使えない施設になりました。そのため、複数の障がい者が泊まれるホテルを探すのは大変な状況です。今回は国民宿舎で、バリアフリーの部屋があるとの事で、伊豆の松崎荘を選びました。10年以上前に使った、富士山の田貫湖にある休暇村富士は、湖面に映る富士山の綺麗さとダイヤモンド富士が見られるので有名ですが、当時は会員も年齢的に若く、完全なバリアフリーでは無かったのですが、楽しめた研修旅行でした。国民宿舎でバリアフリーの部屋があるとの事と、景色の良い松崎海岸に建っているのと考えて決めました。

部屋は広くて良かったのですが、浴室にリフトがついてなく、家族風呂もバリアフリーではないので利用できず、楽しみな浴槽に入れられない人もいて少し残念な旅になりました。でも、途中の伊東マリンタウンでの新鮮な食事、バスの窓から見る海の景色、伊豆七滝近くのワサビ店での買い物など簡単には来られない所、そして顔なじみのガイドさんと運転手さん(京王バスでは毎回同じガイドさんと運転手さんでとても安心です)。往きのバスの中で、古矢野さん特製のビンゴカードを使い、会長の高本さんが趣味のゲームセンターで集めた縫いぐるみやアニメが描かれた毛布などを景品に提供してもらいビンゴゲームが行われ、楽しい旅でした。

帰りは伊豆の西海岸を眺めながら沼津漁港の海鮮市場に寄り、数人のグループ毎に、好きな場所で新鮮な魚料理を食べ、渋滞もなく、楽しかった思い出を胸に帰路に着きました。ありがとうございました。

これからは、無理な行程は計画できず、移動が厳しい障害を持つ車いす利用者にとって宿探しや観光地探しが難しく、会員の高齢化もあり、今後の課題です。次回も可能であれば、家に閉じこもりにならないよう、仲間同士の同じ目線での話が出来る楽しい旅が出来るようにしたいと思っています。今回も福祉バスの利用が出来有難うございました。

《事務局たより》

《令和5年度夏季受託事業販売協力依頼》

恒例の受託販売にご協力をいただきありがとうございます。今年度も5月連休明けから販売を開始いたしております。

年2回の売り上げの一部を会運営資金にあてておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、最近の諸物価高騰の影響を受けまして、仕入先より価格変更の申入れがありましたので、れんきょうの販売価格も変更させていただきます。

何卒、当協議会の主旨、目的を再度、ご理解いただきまして、格段のご協力の程よろしく願いいたします。

令和4年度→令和5年度

- ① 島原小町 (ES-33) (化粧箱入り全粒粉そーめん) れんきょう販売価格 ¥2,500 → ¥2,800
- ② 麺ごころ (FI-40) (化粧箱入りそーめん) れんきょう販売価格 ¥3,000 → ¥3,100
- ③ 麺ごころ (FL-55) (桐箱入りそーめん) れんきょう販売価格 ¥3,800 → ¥4,100

※販売期間：令和5年5月8日～令和5年8月31日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10:00～午後4:00 (月曜日～金曜日)

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話 042-755-5282

《新車紹介セールご協力のお願い》

～ (株) クライムエヌシーデー様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、ホンダ、マツダ、三菱、ダイハツ

新車購入の成約前に必ずNPO法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO法人れんきょう事務所まで (042-755-5282)

(株) クライムエヌシーデー様、相模原市自治会連合会様よりご芳志をいただきました。ありがとうございました。